

青葉区しらとり台自治会エリアで (しらとり台・さつきが丘) 脱炭素・災害対策に取り組む 参加市民募集中!

申込み・
問い合わせ↓



情報相談コーナー開設します(メールでの相談も可)。お気軽にご相談ください!

8/19(火), 23, 30(土) 時間: 14:00 ~ 17:00
会場: 青葉台郵便局 2 階 スプラス青葉台

脱炭素・災害対策効果が大きい取組

ゼロ ・0円ソーラー

契約期間中所有者は事業者になりますが、10 年後(蓄電池を
設置する場合は 15 年後)に設置者に無償譲渡されます。

初期費用不要で太陽光発電システムを導入できます。
災害時の電源確保にも



補助金情報(神奈川県) 0円ソーラーのみ対象

太陽光発電= 7 万円/1kw

蓄電池= 15 万円(太陽光・蓄電池セットのみ)

住宅用0円ソーラーに係る経費の一部を事業者に対して補助し、個人負担分の軽減につながります。

・おひさまエコキュート

「おひさまエコキュート」を併せて設置すれば、昼間余った太陽光発電の電気でお湯を沸かすため、給湯のエネルギーが少なくすみます。毎月定額の利用料を支払う等、さまざまな方法で導入できます。

災害時 3 日分の水を確保



・太陽熱温水器

太陽熱温水器は給湯エネルギーの約 4 割を減らすことが可能です。最新の太陽熱温水器は、ご使用のガス給湯器に直接取付けることで、給湯器のリモコンが使用可能で家庭内すべての給湯蛇口で太陽熱のお湯が利用できます。

給湯エネルギーを 4 割減
災害時 3 日分の水を確保



・窓の断熱

住まいのなかで熱の出入りが多いのが「窓」です。夏は約 70% 流入、冬は約 50% の流出します。内窓をつける断熱方法がコスト的にもお得。

国の補助金もあります。



しらとり台自治会長
下山和洋

今年も日本各地で災害が起きていますが、しらとり台自治会でも太陽光発電システムを屋根上に設置して脱炭素に貢献するとともに、停電時の電源を確保することで地域の皆様の利便性を図りたいと考えています。自治会活動に引き続きご協力をお願いします。



一社) 横浜市地球温暖化対策推進協議会理事
佐藤一子(しらとり台在住)

「住まいの脱炭素化に関する調査」にご協力ありがとうございました。約 200 通の返答がありました。脱炭素行動に向かって一層のご協力をお願いいたします。自治会館にも太陽光発電、蓄電池等設置を検討してくれています。災害時必要なスマホの充電も可能です。

助成金情報

横浜市も神奈川県も今年は応募が多く、早くなる可能性も多くあります。
お申込み、ご相談はお早めに！

横浜市の助成

【申請受付期間】2025 年7月末から 2025 年 12 月 22 日（月）まで
【還元方法】キャッシュレスポイント（または商品券）

対象	還元分		対象	還元分	条件
①太陽光発電設備	1.5 万円分 / kw (上限 4 kw)	+	②蓄電池	15 万円分 / 戸	【既設の対象設備がない場合】 ①+ (②、③、④) 申請
			③おひさまエコキュート	2 万円分 / 戸	
			④電気自動車	10 万円分 / 戸	【既設の対象設備がある場合】 (1) ①を既に所持している場合 ②、③、④を単独で申請可 (2) ②、③、④いずれかを既に所持している場合①を単独で申請可
⑤燃料電池（エネファーム）				3 万円分 / 戸	
⑥ V2H（※）充放電設備				10 万円分 / 戸	特になし

※V2H：「Vehicle to Home」の略で、電気自動車のバッテリーに貯めた電力を家庭で利用するためのシステムのこと。

※期間を待たず予算額に達した場合には、その時点で終了します。 ※対象設備設置後の申請は受付できませんので、ご注意ください。

※年に一回程度、発電量などのデータ提出を依頼します。

横浜市建築局の補助金もあります。詳しくは相談コーナーで、ご説明します。

さらに取組みを実践する方を募集します

9 月以降、説明会を開催します。

LED・省エネ家電への買換え

蛍光灯は国際法水銀条約により 2027 年に製造禁止になります。照明を LED に替えましょう。家電製品は昔のものに比べて省エネ性能が飛躍的に進化しています。特に 24 時間エネルギーを使う冷蔵庫は買換えで消費電力がグッと少なくなります。

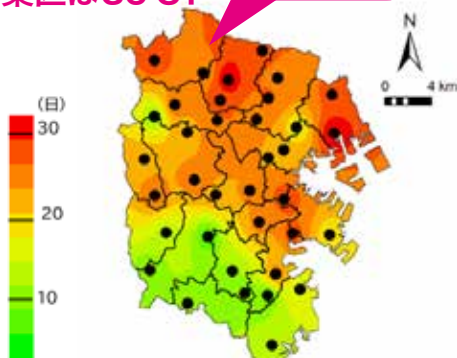
再エネ電力に切替え

再生可能エネルギーの電力会社に切替えるだけで CO₂ の削減になります。切替えには手数料もかからず、電気料金も上がりません。一般的な家庭（従量電灯 B または C、低圧電力）とほぼ同等です。

7～8 月の猛暑日日数分布図

7月26日
青葉区は35℃!

青葉区



令和6年

横浜市 HP ヒートアイランド対策関連ページより

9 月以降、取組み開始予定

衣類の回収

製造や廃棄に多大なエネルギーを使う衣類は、多くがリサイクルされずに焼却されています。再利用したりリサイクルすることで焼却による CO₂ の排出を抑えられます。

食品トレイの回収

ライフ青葉しらとり台店では回収ボックスを設置し、食品トレイの回収を行っています。再資源化することで CO₂ の排出を抑えることができます。

廃食用油の回収

家庭から出る廃食用油はリサイクルが進んでいないのが現状ですが、廃食用油から作られた航空燃料は SAF (Sustainable Aviation Fuel 持続可能な航空燃料) と呼ばれ、CO₂ の排出が実質的ゼロの燃料になります。また、バイオディーゼル燃料 (BDF) として、軽油や重油の代わりに使用できます。廃食用油回収拠点になってくれる方を募集中。

しらとり台コンポストクラブ発足します！
一緒に取り組んでみませんか？
参加者募集します。



お問合せはメール・お電話で

一社) 横浜市地球温暖化対策推進協議会

理事 佐藤一子（しらとり台在住）

電話：090-1206-6370 メール：yokohama@0ntaikyo.org

